

使い終わったアルミに第二の人生を

SDGsラジオを読んでみよう！

「アルミ」って、どんなものなのか知っていますか？

アルミは金属のひとつで、正式には「アルミニウム」といい、ジュースの缶やアルミホイルなど身の回りのいろんなものに使われています。1円玉も、アルミからできているんですよ。

また、リサイクルしやすいところもアルミの大きな特長のひとつ。

小さな電力で新しい商品へとリサイクルできるので、アルミのリサイクルを増やしていくことは、環境の保護にもつながります。

窓の会社「YKK AP(ワイケイケイエーピー)」では、このアルミのリサイクルに力を入れています。

アルミ製の窓などをつくる際に出たアルミの切れはしをまた、アルミ製の窓へとリサイクルしています。

さらに、使い終わったアルミ窓やタイヤホイールなど一度街に出たアルミのリサイクルにも取り組み、

さまざまな商品に利用しています。

みなさんのおうちや教室にも、リサイクルでつくられた窓がきっとあります。ちょっと注目してみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



私たちの暮らしの身近にある金属「アルミニウム」。アルミはジュースの缶やアルミホイル、1円玉などさまざまなものに使われています。軽くて、やわらかくて、さびにくく、そしてもうひとつ大きな特長があります。それは、とてもリサイクルしやすいことです。アルミ自体をつくるにはたくさんのエネルギーが必要ですが、アルミは鉄などの他の金属と比べて低い温度で溶けることから、すごく小さなエネルギーで新しい商品へとリサイクルすることができます。「小さなエネルギーでリサイクルできる」ということは、リサイクルするときに出る二酸化炭素の量が少ないので、アルミはとても環境にやさしい金属だと言えます。

このアルミのリサイクルに力を入れているのが、窓をつくらしている会社「YKK AP」です。YKK APでは、アルミ製の窓をつくる際に出るアルミの切れはしを回収し、再びアルミ製の商品にリサイクルしています。またYKK APは、使い終わったアルミ製の窓やタイヤホイールなど、一度街に出たアルミを回収して、さまざまな商品へと生まれ変わらせています。捨てられるはずだったアルミを、また別の商品へと生まれ変わらせる。YKK APはいろいろな視点から地球の未来と向き合っています。



がぞうさんしょう
画像参照：アルミをリサイクルする装置
ホームページ
(YKK APのHPより)

キーワード

アルミニウム

アルミニウムは軽くてさびにくい金属です。缶や車、飛行機などに使われていて、リサイクルがしやすいのも特長のひとつです。「アルミ」とも呼ばれています。

リサイクル

リサイクルとは、使い終わったものをもう一度使って、新しいものに生まれ変わらせることです。

二酸化炭素

わたしが息を吐いたり、化石燃料と呼ばれる石油や石炭などを使った際に出る気体です。この気体が増えすぎると、地球の気温が上がる「地球温暖化」が進んでしまいます。

対象ゴール



みなさんにできること！

アルミがどんなものにリサイクルされているか、調べてみましょう。

おさらい

- アルミは小さな電力でリサイクルできる。
- アルミをもっとたくさんリサイクルすることは、環境の保護につながる。
- YKK APはアルミのリサイクルに力を入れている。

メモ



SDGs ラジオ